

第25回『大いなる生命と心のたび』 <神々と聖者たちの棲むインド>

お申込締切: 5月30日

■ クットラムの滝浴び情報

「クットラムでは、どんな服装で滝を浴びるのですか？」

こんな質問をとときお受けします。現地の人びとは、男性は南インドのドーティー(腰巻)や水着、女性はサリーやパンジャビ・スーツなどの衣服を着たまま水を浴びます。沐浴後は、女性でも外で器用に着替えてしまいます。

滝のそばにはロッカーや着替えの小屋がある場合がありますが、使用できるかどうかはわかりませんので、女性は水着の上に薄手の衣服を着るか、薄手の布などを巻いて水を浴び、沐浴後は、水気を拭き取った水着の上から着替えの服、またはタオルをさっと羽織ることをお勧めします。男性は普通の水着を着用されて結構です。

沐浴後、そのままバスに乗り込み、ホテルに直行する予定です。ホテルまで、それほど時間はかからないと思われませんが、滝の水には強力な薬効がありますので、少しの間、肌の水が触れているとちょうどよいかもしれません。



インドの女性はサリーを着たまま滝浴び

尚、男性は白のクルタ・パジャマを、女性は白のパンジャビ・スーツ(女性版のクルタ・パジャマです)をご購入いただけます。(旅行参加者の皆さまに、申し込み締め切り後、ご案内を発送いたします。)ちなみに、「クルタ」は上着、「パジャマ」はズボンを意味し、日本人が寝巻きとしているパジャマはここからきています。男女とも、通気性のよい、動きやすく快適な南インドの民族衣装です。



露店で売っている「ガムシャ」と呼ばれる、インドの綿製タオルは、ペラペラの薄い生地を持ち運びやすく、乾きやすく、値段も安いので、滝浴びの同伴に最適です。(ただし、洗濯のとき色落ちするのでご注意ください！)

■ 女神ラクシュミの化身“チャンパカ”



タミル・ナードゥ州南部、西ガート山脈南端に位置するクットラム。種々の薬草と花々が生い茂るクットラムの森は、チャンパカ樹の自生地としても知られています。富と繁栄の女神ラクシュミの化身とされるチャンパカの花は、淡いオレンジや白い花が開花すると、甘く爽やかな香りを放ち、神々や女神たちへ捧げる神聖な花とされています。

チャンパカは、モクレン(木蓮)科オガタマノキ(招霊木)属の花木です。日本では、「金香木(きんこうぼく)」の名で知られ、古来、神の代用としても用いられてきました。

インドでは、神々にお捧げる花は、香りのよいものが望ましいとされますが、捧げる前に自分で先に香りを楽しみません。寺院でお捧げたお花は、神々が楽しまれた後のお供物(プラサーダム)として、参拝者に配られることがあります。

ホテルのお部屋に小祭壇を作られる方は、滝の周辺で採ったチャンパカで祭壇をお飾りするとよいかもしれませんね。

今後の瞑想講座【意識の科学<Art of Meditation>】

- <Art1> 第81期・神戸 2014年6月14日(土)-15日(日)
- 第82期・東京 2014年8月16日(土)-17日(日)
- <Art2> 第21期・東京 2014年6月22日(日)
- <Art3> 基礎編 第14期・東京 2014年7月6日(日)

開催間近 普通の技術<Art1>第81期・神戸

お待たせいたしました! 以前から多くのご要望をいただいております関西・神戸で、瞑想講座を開催いたします。

2004年4月に第一期が開講されてちょうど10年、11年目に入って最初の講座となります。

以下は、これまでに受講された1200名の皆さまからお寄せいただいた声の一部です。

「瞑想から得られたものは計り知れません。一生の宝です」
「再受講してみて、初めて聞いたとき以上に感動しました」
「後悔しました。どうしてもっと早く受講しなかったんだろうと……」

6月8日<プレマ・セミナー>第108回記念 アートオブサイエンス・オリジナル壁紙プレゼント

第108回<プレマ・セミナー>を記念して、PC・スマートフォン・携帯電話用のアートオブサイエンス・オリジナル壁紙を、ウェブサイトの<プレマ倶楽部>会員様専用ページにて配布いたします。

6月8日からダウンロードいただけます。お楽しみに!



(株)アートオブサイエンス <プレマ倶楽部> 事務局
〒152-0032 東京都目黒区平町2-23-20-201
Tel: 03-6459-5313 Fax: 03-6459-5317
<http://art-sci.jp> e-mail: info@art-sci.jp